

UP! Uozumi-higashi Press

魚住東中トリプルD < Dream, Design and Do it >

2016.4.21(木) 第2号

家庭訪問が始まります

来週の月曜日から4日間家庭訪問を予定しています。家庭訪問はただ単に生徒宅の位置を知るだけではなく、担任が保護者の皆様とお話できる貴重な機会だととらえています。10分程度の限られた時間ですが、学校では見られないお子様の家庭での様子や、保護者の皆様の願いをぜひお聞かせ下さい。

担任によってお話しする内容に多少の違いはありますが、概ね次のようなことを伺います。

- 新しいクラスには慣れたようですか。
- 困っていることや悩んでいることはありませんか。
- お子様は下校後や休日はどうのように過ごしていますか。
- お子様に対しての望みや願いは何ですか。
- 担任に知らせておきたいことはありませんか(特に、健康面)。
- 担任や学校に望むことはありませんか。



その他、担任が知らないお子様の素晴らしいところを遠慮なさらずに、お聞かせください。
では、実りある家庭訪問になるよう、よろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査が実施されました

4月19日(火)に全国学力・学習状況調査が実施されました。全国悉皆で実施され、中学校では3年生が国語、数学、生徒質問紙に回答しました。

明石市では昨年度、「明石市の児童生徒の『確かな学力』のさらなる向上を目指して」全国学力・学習状況調査の分析を行い、その結果を明石市教育委員会のホームページで公開しています。その中のクロス集計(児童生徒質問紙と各教科平均正答率との関係)からわかったことをいくつか抜粋します。

- 朝食を毎日食べている児童生徒は、朝食を毎日食べていない児童生徒より、平均正答率が高い。朝食を毎日摂ることが平均正答率に大きく影響することがわかる。
- 毎日、同じくらいの時刻に起床し就寝している児童生徒は、毎日、同じくらいの時刻に起床し就寝していない児童生徒より、平均正答率が高い。
- 小中ともに、テレビゲームをする時間が多い児童生徒は、テレビゲームをする時間が少なかったり全くなかったりする児童生徒に比べて、平均正答率が低い。
- 小中ともに、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が多い児童生徒は、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が少なかったり持っていなかったりする児童生徒に比べて、平均正答率が低い。
- 小中ともに、読書をする児童生徒の方がしない児童生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。
- 小中ともに、家族とのコミュニケーションを多くとっている児童生徒ほど平均正答率が高い。
- 小中ともに、家庭で学校の宿題をする児童生徒の平均正答率が高い。
- 小中ともに、家庭で予習・復習をする児童生徒の平均正答率が高くなっている。

生活習慣や学習習慣、また家族の団らんなどと学力には高い関連性があるということがわかります。ぜひ参考にして頂き、お子様の学力向上にお役立て下さい。

